

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称	ヤブ蚊マダニジェット屋外用（販売名：アースジェット Yjb-2a）
整理番号	TK1736
会社名	アース製薬株式会社
住所	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目 12 番地 1
担当部門	開発部
電話番号	03-5207-7464
FAX番号	03-5207-7485
作成／改訂年月日	2016年12月28日 作成 2018年02月20日 改訂

### 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性	使用方法、使用量を守れば有害性は極めて低い。
分類の名称	該当しない
特定の危険有害性	噴射薬剤を吸入すれば、咳き込むことがある。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物（防除用医薬部外品：エアゾール殺虫剤）
成分及び含有量	〔有効成分〕 トランスフルトリン 320mg 〔その他成分〕 精製水 1号灯油 他1成分 〔噴射剤〕 液化石油ガス
危険有害成分	ピレスロイド系殺虫剤（トランスフルトリン）配合品

### 4. 応急措置

吸入した場合	万一、身体に異常が起こったときは、直ちに本品がピレスロイド系殺虫剤であることを医師に告げて診療を受ける。
皮膚に付着した場合	実使用上特に問題はないが、皮膚に付着すれば、石けんと水でよく洗う。
眼に入った場合	実使用上特に問題はないが、眼に入れば、軽度の刺激性を有する。速やかに洗眼すれば刺激の程度は軽減する。

### 5. 火災時の措置

消火剤	泡、二酸化炭素、粉末
特定の危険有害性	エアゾール製剤であり、着火後爆発の危険性があるため、直ちに避難する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	特になし
環境に対する注意事項	特になし

除去方法

特になし

**7. 取扱い及び保管上の注意**

取扱い

技術的対策

○本品は家庭用として使用すること。

・使用前に缶をよく振り、噴射する。

蚊の駆除に使用する場合

・蚊が潜んでいそうな場所（草むら、庭木周り、物陰等）に1～2mの距離から約2秒ずつ噴射する。また、蚊に対して約2秒直接噴射する。

マダニの駆除に使用する場合

・マダニが潜んでいそうな場所（草むら、庭木周り、地面等）に約1mの距離から1㎡あたり約1秒噴射する。また、マダニに対して約1秒直接噴射する。

注意事項

○用法及び用量における注意

・マダニは重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の原因となるSFTSウイルス等を媒介し、蚊成虫はデング熱の原因となるデングウイルス等を媒介することが知られている。マダニ、蚊成虫を防除することで、感染リスクを低減することが重要である。本品を用法・用量に基づいて適正に使用しないと、十分な効果が得られないおそれがあるので、定められた使用方法、使用量を守る。

○皮膚、飲食物、食器、子供のおもちゃ、観賞魚・小鳥などのペット類、飼料、観賞植物、農作物にかからないようにする。

○本品はふすま、カーテン、家具、自動車などに噴射液がかかると、シミ等を残すおそれがあるので、そのような場所では使用しない。万一かかった場合は、直ちにふき取るか洗う。

○ペット小屋には使用しないこと。

○噴霧が草木に多量にかからないように注意すること。

○薬剤がかかった草木、壁などには触れない。

○魚毒性があるので、水槽や池などに噴射液が入らないように注意する。

○本品は使い切ってから捨てること。

○一般的注意（高圧ガス保安法）

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

①炎や火気の近くで使用しないこと。

②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所やストーブ・ファンヒーターの近くなど温度が40度以上となるとところに置かないこと。

④火の中に入れていないこと。

⑤使い切って捨てること。

安全取扱い注意事項

○人体に使用しないこと

○人体に向かって噴射しない。また、噴射気体を吸入しない。

○万一身体に異常が起きた場合は、直ちに本品がピレスロイド系の殺虫剤であることを医師に告げて、診療を受ける。

○公共の場では使用せず、家庭のみの使用に限る。

○薬剤が皮膚についたときは、石けんを用いてよく洗う。

○眼に入らないように注意し、入った場合は直ちに水でよく洗う。

○アレルギー症状やかぶれを起こしやすい体質の人は、薬剤に触れたり、吸い込んだりしないようにする。

	○噴射場所の周り、特に風下に人がいないことを確認し、風上から噴射する。
	○噴霧が風の影響を受けるときは、使用を避けること。
	○火炎に向かって使用しない。
保管	
技術的対策	特になし
適切な保管条件	○直射日光や火気を避け、凍結のおそれのない温度の低い場所に保管すること。
	○子供の手の届かない場所に保管すること。
	○缶のさびを防ぐため、水回りや湿気の多い場所に置かないこと。
混触禁止物質	特になし
安全な容器包装材料	情報なし

## 8. 暴露防止及び保護措置

保護具	特になし
-----	------

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	エアゾール製剤
色	淡黄色微白濁～淡黄色澄明な液体
臭い	わずかに特異な芳香を有する。
pH	情報なし
密度（比重）	0.774±0.01(20℃)
溶媒に対する溶解性	情報なし
物理学的状態が変化する特定の温度／温度範囲	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	製品として3年間の安定性が推定されている。
反応性	反応性なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	急性経口毒性 (LD <sub>50</sub> 値：原体からの推定値) ラット 雄/雌 5mL/kg 以上 (殺虫原液)
	急性皮下毒性 (LD <sub>50</sub> 値：原体からの推定値) ラット 雄/雌 5mL/kg 以上 (殺虫原液)
	急性吸入毒性 (LC <sub>50</sub> 値：原体からの推定値) ラット 雄/雌 通常使用量の1000倍以上
局所刺激性	(原液配合成分からの推定) ウサギの眼に対する刺激性 刺激性なし。 ウサギの皮膚に対する刺激性 刺激性なし。
感作性	(原液配合成分からの推定) モルモットを用いたアレルギー性試験 アレルギー性は認められない。

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性 情報なし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 捨てるときは、風通しが良く火気のない屋外で風下に向かって人にかからないように噴射レバーを引き、噴射音が消えるまでガスを抜いて、燃えないゴミとして捨てること。その際、噴射レバーを引いたまま、スプレーキャップ側面の孔につまようじ等を差し込むと、噴射レバーがロックされ最後までガスを抜くことができる。噴射が不十分な場合は、つまようじ等を押し下げると最後まで噴射できる。

汚染容器・包装 空容器やフィルム等は、各自自治体で定められた廃棄方法に準じて処理すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号 1950、クラス 2.1（エアゾール）  
輸送の特定の安全対策 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。  
及び条件 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

## 1 5. 適用法令

医薬品医療機器等法 防除用医薬部外品  
消防法 非危険物  
P R T R 法 該当なし

## 1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。